



むなかた市議会だより

平成28年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/
050/080/index.html
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

税金などの 使い道を チェック

平成27年度決算を認定

普通会計

歳入 363億7633万円
歳出 358億7984万円

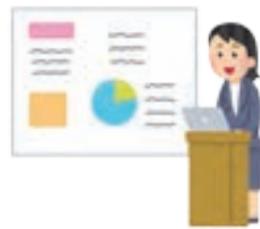
平成28年第3回宗像市議会定例会が、8月31日から9月29日までの期間で開催され、市長提案の議案24件、諮問2件について審議を行いました。
本定例会では、みなさんが納めた税金などがどのように使われたのか、9つの会計の平成27年度決算審査を2つの特別委員会で行い、全ての決算を認定しました。

平成27年度決算審査の内容

- ▽27年度の事業実績として、宗像版観光プラットフォームを構築するため、業務を宗像観光協会に委託したことや、子ども・子育て支援新制度に基づく保育施設の整備で定員を40人増員、保育コンシエルジュを2人配置し、保育に関する相談事業を強化したことなどの報告がありました。
- (※)27年度決算の詳細は、本号(11月1日号)のむなかたタウンプレス2〜3ページを参照。
- ▽世界遺産登録の推進と保存活用の方針に従って、多くの人が本市を訪れるように取り組んでほしい。
- ▽本市の公債費比率、将来負担比率はかなり低いので、財政を引き締めるだけではなく、将来に向けて有効な事業投資を行ってほしい。
- ▽事業の必要性の精査などに取り組み、市民の税金を有効に使うことを要望する。
- ▽ふるさと寄附は、市外の人に特産品を知ってもらうよい機会になっている。今後も精力的に特産品の開発、その支援に取り組んでほしい。
- ▽全国的に教員が足りていない状況である。物よりもまずは人員体制を強化してほしい。
- ▽世界遺産登録については、市外に向けてのPR

Rだけではなく、市民が宗像の歴史文化を大切なものだと認識できるように予算執行に改めるべきである。

▽国民健康保険特別会計は黒字決算となっており、27年度に保険税の値上げが必要だったのか疑問である。



実施しました!

各常任委員会による事業評価

前号の議会だよりでお知らせしましたが、議会閉会中の8月に、常任委員会でそれぞれ所管の中から選定した事業について評価を行いました。結果は下記(表:事業評価結果一覧)のとおりです。
市の事業は、予算の審査・議決という形で、市議会が最終的に決定しています。今回の事業評価の結果を、各定例会で実施している一般質問や予算特別委員会において反映させていきます。

全員賛成で可決 平成28年度 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億9999万6千円を増額し、総額を338億3719万9千円とする補正予算案が提出されました。

主な内容は次のとおりです。

待機児童解消に向けた取り組み

◇29年4月に保育定員を90人増員することに伴い、市内の届出保育施設2園について、認可保育所30人分と認定こども園60人分の認可を受けるために必要な施設整備に対する補助金を増額(1066万7千円)

◇保育士確保対策の一つとして3年を限度に月額3万円の家賃補助を行う県内初の保育士等家賃補助金を新規計上(180万円)

主な質疑

Q 保育士等家賃補助金の支給対象は、市外からの転入者だけを想定しているのか。

A 市外からの転入者だけではなく、市内在住者で賃貸住宅に居住している場合も対象となる。

Q 保育士を養成する学校などの卒業予定者に、本市へ就職してもらうために検討していることは。

A 県内にある学校を訪問し、パンフレットなどでアピールする。

事業評価結果一覧

委員会	事業	次年度予算レベル(※1)	今後の取り扱いに関するコメント(抜粋)
総務	ALT派遣事業	B 改善	本市が重点的に取り組んでいるグローバル人材育成に関連する事業であり、近隣の同規模自治体と比べてALTの配置数も多い。 本委員会としては、費用対効果を測る指標、英語教育を推進する手段として英語検定受験料の補助制度を導入する等の方法、ALTが今後さらに地域との関わりを進めることについて検討することを要望する。
	防災対策事業	B 改善	今後は、市民が自主防災活動に関わりたいと思えるきっかけを増やすために、広報・啓発の強化、防災マップへの公民館の掲載、防災運動会の開催推進について検討することを要望する。
社会	資源集団回収奨励金支給事業	B 改善	資源回収を奨励する本事業の主旨は高く評価する。 事業の開始から20年が経過する中での社会情勢の変化や地域の状況の変化などを考慮し、団体構成員の資源回収活動への関わり方に応じた単価の設定を検討すること、高齢者の負担軽減が促進されるような制度設計を検討してもらいたい。
建設産業	大井貯水池対策事業	B 改善	大井ダム建設当時の地元との協約書に基づく農業用水の確保については必要であるが、今後の改修計画を見ると事業費もかさむことから、灌漑ポンプ改修事業(釣川取水ポンプ施設改修)については、施設の在り方、費用対効果を検証し、再検討を行うこと。
	大井ダム跡地整備事業	B 改善	事業の目的は、憩いの場の提供と人のにぎわいの創出とあるが、あるべき姿と現状にギャップがある。地元コミュニティ、自治会と協議を重ねる事業の目的を遂行するため、多目的広場の活用方法を計画の廃止も含め再検討、周辺の景観保持、三角公園と連携したダム跡地周辺の遊歩道整備の検討を要望する。
	花、緑のあるまちづくり事業	C 縮小	事業は25年経過し、現状、花苗の配布事業となっている。また、参加団体にもメリット、デメリットがあり、特に高齢者団体等については負担増も見受けられる。事業がマンネリ化傾向にあるため、負担が少なく事業の目的が達成できる仕組みの構築、花苗配布(種類)の見直し、花いっぱいコンクールの在り方、観光・イベントに結びつけられるような事業展開について、縮小・廃止も含めて検討を行うこと。

※1 A: 拡大 B: 改善 C: 縮小 D: 廃止(休止)

平成28年9月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が、市の行政事務全般について、市の見解を問うものです。

9月1日、2日、6日、7日の4日間にわたって、16人の議員が市の方針や行政事務について、合計25項目の質問を行いました。

- 議員が質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- 質問の詳細については、録画映像もしくは12月上旬に公開予定の議事録をご覧ください。



未婚の若者に将来の希望を
とびうおクラブ／森田 卓也

問 市内に定住を希望する未婚の若者に、空き家を活用して住宅を提供してはどうか。

答 未婚の若者に幅広く、無償で空き家を提供することは現在考えていないが、地域に貢献する若者に対する家賃の助成については検討の余地がある。



問 市の事業の一部(地域包括ケアシステムなど)に有償ボランティアを活用し、週末や休日に兼業することで、市内の若者の所得向上を目指してはどうか。

答 29年度に市主催の研修会の実施を計画している。



宗像市のスポーツ推進について
とびうおクラブ／北崎 正則

問 本市のスポーツ推進の課題は。

答 スピード感を持ってスポーツ推進計画を実行すること。成人の運動の実施率65%を目標とした取り組みが必要。

問 健康マイレージ(※)の制度の検討の状況は。

答 先進地の事例を調査しており、現在、スポーツサポートシステムの調査研究をしている。



問 限られた財源で効果的な対応をし、利用団体と連携を図っていく。

答 スポーツ施設の一元管理の状況は、ネット予約が可能になり、利便性が向上した。

その他の質問
元気な職員づくりはどうか。



宗像らしい障がい者雇用のあり方
みらいの和み宗像／高原 由香

問 次期チャレンジ雇用の方向性は。

答 これまでのノウハウを生かし、継続して取り組みたい。

問 チャレンジ雇用の地区コミセンへの拡大の検討は。

答 今後、障がいのある人の職域の拡大に努めたい。



問 平成30年に向けて、障がい者雇用における採用時の留意点は。

答 適切な業務、周辺職員の理解、ハード面など、障がいに応じた配慮が必要だと考えている。

問 福祉的支援が必要な方への就業支援において他の機関との連携は。

答 つながり合うべきところは、必要な連携は取っている。



県立特別支援学校の誘致を望む
宗像志政クラブ／小島 輝枝

問 特別支援教育の底上げが教育全体の底上げにつながるものと確信する。

問 障害児通所支援事業所ほつびの現況と評価は。

答 27年7月の中央中学校敷地内への移転後も高評価を得ており、利用者も増加している。



問 障がい者への理解を深め、チャレンジ雇用を広げていくことが、大事な仕事と考えている。

問 児童数の急増により、プレハブ教室を利用している特別支援学級もあるため、教室の確保が課題。通級指導教室は、今年4月の増設により入っているか。

答 児童数の急増により、プレハブ教室を利用している特別支援学級もあるため、教室の確保が課題。通級指導教室は、今年4月の増設により入っている。



消防団をさらに応援しよう
とびうおクラブ／安部 芳英

問 26年6月議会で提案した消防団優遇サービス応援店の進捗はどうか。

答 関係部署との協議、先進自治体の状況確認を行っている。10月から消防団と協議を開始し、平成29年度の早い時期をめどに取り組みたい。

問 有償ボランティアの中心的人材には元氣な高齢者を想定しているが、若者の兼業の道を閉ざすものではなく、地域の活気にもつながると考える。

問 地域包括ケアシステムに関わる有償ボランティアの実施のため、市独自の職業訓練を行っているか。



消防団

問 市民の心が一つになるような宗像の映画を制作してはどうか。

答 先進自治体の事例について調査研究を行い、実施に向けて検討する。

問 可能性も含めて今後、企業と協議の場を設けたい。

問 神湊や岬地区に地区計画を設定できないか。

答 第二次宗像市都市計画マスタープランで両地区を地域中心と位置づけ、日常生活、サービス機能を備えたコミュニティ空間の形成、整備を進めることとしており、地区計画の指定は可能と考える。



持続可能な宗像市づくりの展望
宗像志政クラブ／伊達 正信

問 公平性の観点から税の減免は難しい。空地・空き家所有者へのアンケート調査結果を分析した上で、戦略を打つよう進めていきたい。

問 赤間駅南口付近の黒町踏切から西側を市街化区域に指定できないか。



問 自由ヶ丘、日の里地区に従前から地主が売却しない土地が多数ある。地主が売却を考慮する策として、市が一時的に上げる機構をつくり、税の優遇措置などを図れないか。

答 ルールとして厳しい点もあるが、数少ない開発地域なので、都市計画を見直す中で進めたい。



子どもの予防接種に対する対策は
公明党／岡本 陽子

問 任意接種であるロタウイルス予防接種の補助金による支援、本年10月から0歳児に定期接種化されるB型肝炎予防接種の3歳未満児への公費助成を実施する考えは。

答 ロタウイルス予防接種の補助金は、安全性が十分に確認された上で、医師会との協議を重ねながら慎重に検討する。B型肝炎予防接種の公費助成は、子どもの健康の保持・増進に寄与すると考えるが、まずは0歳児における漏れのない接種勧奨を重点的に進める。



問 市内小・中学校の普通教室に、エアコン設置が必要ではないか。

答 普通教室に設置済の扇風機で体感温度を下げること、学習環境の改善を図っている。6億3千万円の設置代、管理費など高額な予算がかかるため、エアコンを設置することが適切なのか、今後検討が必要。



介護予防・生活支援事業の進め方
とびうお市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 介護予防・日常生活支援事業における住民主体による支援体制は、制度ありきではなく、市民と共に必要な支援を考え、構築するという、発想の転換が必要では。

答 民生委員からの聞き取りも含め、必要とされている支援を探り、囲碁や将棋など介護予防につながる地域の既存の取り組みの組み合わせを、生活支援コーディネーターを推進役として進めたい。



問 困窮を抱える子どもが、人との関わりの中で困難を軽減できる糸口を見つけられる「子どもの居場所」づくりが必要。市民への支援策は。

答 コミュニケーションとしてのつながりをどう創出するかが大切。子育て支援ボランティア講座などで居場所づくりの中心的な役割・リーダーの養成が可能と考える。

問 困窮を抱える子どもが、人との関わりの中で困難を軽減できる糸口を見つけられる「子どもの居場所」づくりが必要。市民への支援策は。

答 コミュニケーションとしてのつながりをどう創出するかが大切。子育て支援ボランティア講座などで居場所づくりの中心的な役割・リーダーの養成が可能と考える。

※2 健康マイレージは、この健康づくりへの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組み。

※3レガシー＝遺産、次の世代への贈り物 ※4「げんきくらぶ」＝宗像市障害児通所支援（放課後等デイサービス）事業所の通称



市民協働で夢のあるまちづくりを 宗像志政クラブ／神谷 建一

問 吉武学童保育所はコミュニティで運営して3年目。市の評価と今後の学童保育の方向性は。

答 地域、大学、民間が一体となって、児童の人間形成に役立つっており、高く評価する。コミュニティの学童保育所運営は「地域の子どもは地域で育てる」という理想を実現する方法の一つ。他地区への拡大を検討したい。

問 ラグビーワールドカップキャンペーン地誘致に向け、地元コミュニティの役割は重要と考えるが、市の今後の進め方は。



正助ふるさと村

答 コミュニティとの連携を進めながらさまざまな交流プログラムを展開することになると考える。10年目を迎える正助ふるさと村。業務内容見直しと施設整備が必要と考えるが、市の考えは。来年度、業務内容を再見直し、建物の修繕・改修費用も含めて方向性を検討する。



世界遺産登録の進捗よく課題 日本共産党／末吉 孝

問 世界遺産登録の現在の進捗よく状況は。

答 9月7日から10月モスの現地調査が行われる。来年度の登録決定に向け、大変重要な時期である。登録後の計画と予算の見直しは。今後、歴史的風致維持向上計画を策定し、協議していく。現時点で明確な数値は提示できない。

問 世界遺産センターの計画に関して、宗像大社とどのような検討をしているのか。

答 計画については、ほ



啓発パンフレット

問 市民要望による駅名変更の対応は。

答 費用対効果などを整理しながら、慎重に検討していく。



障害児通所支援事業の充実を 日本共産党／新留 久味子

問 市委託事業の障がい児放課後等デイサービスは、利用者の増加により利用調整が行われ、一部の利用者がサービスを受けれない現状がある。事業所の増設を検討できないか。

答 民間事業者の参入動向や利用者のニーズ実態を把握し、検討する必要がある。

問 プール遊びは大事な保育活動。プール利用料の補助や民間事業所に学校のプールや体育館を貸し出すことを検討できないか。

答 「げんきくらぶ」



問 学校を欠席した場合も放課後等デイサービスの利用ができないか。

答 子どもの状態が、預けられる状態であれば利用は可能と考える。



河東西地区にコミセンを 日本共産党／植木 隆信

問 河東西小学校区に、子どもや高齢者が気軽に集う活動拠点が必要。同校区でのコミセン建設は、市長と運営協議会役員との約束もあつたはず。早急に建設についての結論を出すべきだ。

答 地域検討委員会において、河東地区コミュニティの範囲は中学校区との結論が出されており、子どもや高齢者が気軽に集う活動拠点が必要。同校区でのコミセン建設が現状の問は、地区内に施設を建設する考えはない。

問 自治体合併の本来の目的は合理化である。合併前の旧宗像市、旧玄海町、旧大島村の一般会計予算の合計は約290億円。27年度決算では、約74億円増の約364億円に膨れている。事業費の拡大が原因だが、一方で人件費は、合理化により大幅に削減されている。

問 自治体合併の本来の目的は合理化である。合併前の旧宗像市、旧玄海町、旧大島村の一般会計予算を比較すると約44億円増加している。組織のスリム化による人件費、行政改革による補助金などの削減に努めたが社会保障制度に連する扶助費、繰出金の伸びが大きく、合併前例期間終了時点での一般会計予算は、315億円程度になると考えている。

問 博多学園の小中一貫校の誘致予定地は、市が

答 当時、複数の理由で「コミセン」建設は困難と判断したが、この誘致は河東地区をはじめ市全体の活性化に大変寄与するため、博多学園や河東地区と協議を進めていきたい。



河東西小学校



キャンプ地誘致でまちづくりを 宗像志政クラブ／吉田 剛

問 ラグビーワールドカップ、オリンピック、パラリンピックのキャンプ地誘致を一体として捉え、レガシー（※3）を明確にして、市民全員参加の雰囲気のもと、まちづくりに活用するべきである。スポーツ観光を推進する考えは。

問 スポーツ推進都市としての知名度の向上、スポーツ観光の取り組みにプラスになるため、大きなはずみにしたい。

答 学校教育に活用する考えは。グローバル人材育成の観点からも貴重な経験



問 海外のアスリートを目の前にし、自ら関わり、感動できる機会になるよう取り組みたい。

答 健康寿命を延伸するために活用する考えは。市民スポーツや健康への関心が大いに高まることから予想される。市民の運動を中心とする健康づくりを加速する取り組みにつなげていきたい。



世界遺産を見据えた都市計画を 宗像志政クラブ／井上 正文

問 赤間駅の位置付けと駅周辺整備の進捗よく状況は。

答 赤間駅は市の玄関口。現在、旧国道3号線の駅前600メートル区画を整備中であり、舗装工事は秋ごろ発注予定である。

問 都市計画道路「土六朝町線」の整備を県に要望している。

答 都市計画道路「徳重曲線」の進捗よく状況は。関係機関と協議中であり、今後は関係地権者



問 赤間宿通りの駐車場確保と迂回路としての赤間34号線の整備計画は。

答 地元と協議しながら駐車場確保に努めている。道路整備については今年度をもって完了しており、当面、整備予定はない。



行財政運営の諸課題の解決を 公明党／石松 和敏

問 歳入に見合った予算の編成と規模の適正化が必要。市の見解は。

答 社会保障関係経費など経常的経費の増加が見込まれるため、事務事業の改廃が必要。類似事業や効果が少ない事業の洗い出しなども取り組む。

問 新公会計制度の整備と公共施設の適正な維持管理の進捗よくは。

答 新公会計制度の構築により、公共施設の総量の把握や個別資産の老朽化状況などの一体的な管理が可能となる。固定資産の台帳整理は、本年度



決算関係資料

いつでもどこでも 視聴できます！

市議会ホームページで、一般質問や議案の審議などを行う本会議・委員会を生中継しています。また、これまで行われた本会議・委員会の録画映像も公開しています。

生中継・録画映像は、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

※生中継は市内コミュニティ・センターなどでもご覧いただけます



「コミセン」を建てられない土地としてきた。市民に説明できるのか。

答 当時、複数の理由で「コミセン」建設は困難と判断したが、この誘致は河東地区をはじめ市全体の活性化に大変寄与するため、博多学園や河東地区と協議を進めていきたい。

提出議案と議決結果

9月定例会で審議し、可決、同意、認定した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

Table with 2 columns: 議案名, 内容. Row 1: 宗像市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 / 職員等の出張に係る宿泊料の適正化を図るため、条例を改正する

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with 15 columns (議員名) and 6 rows (議案名). Rows include: 平成27年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定, 平成27年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定, etc.

※吉田益美議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。



議会広報編集委員会メンバー (H26.11～H28.10)

編集後記

2年間、市民のみなさまに議会への興味関心を深めていただけよう、井上部長をはじめ福田議員、北崎議員、伊達議員、高原議員、そして議事事務局の職員とともに協力し、試行錯誤しながら一歩ずつ進んで参りました。至らない点も多々あったかと思いますが、目を通してくださいましたことに関係者一同心より感謝しております。今後の議会報のさらなる進化を願っております。

議会広報編集部会 副部長 安部芳英

ようこそ議会へ 議会傍聴のススメ

宗像市議会では、本会議だけでなく、委員会も公開しています。市民のみなさんの身近な問題がどのように審議されているか、傍聴してみませんか。傍聴はどなたでも可能です。傍聴を希望される人は、当日、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しください。傍聴受付カードに住所と氏名を記入後、傍聴章を交付しますので、見える位置につけて議場、委員会室へお入りください。



本会議場

市議会のくわしい情報や 議会中継はホームページをご覧ください。



ホームページ QRコード

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

12月定例会の日程

Table with 2 columns: 日程 (Date), 内容 (Content). Rows include: 9金 予算第2特別委員会, 8木 予算第1特別委員会, 7水 建設産業常任委員会, etc.

12月定例会の見どころ

改選後、最初の定例会です。一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。▼ 12月21日(月)です。▼ 本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継いたします。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

Table with 2 columns: 16金 本会議(委員会報告、質疑、討論、採決), 12月 委員会予備日

※予算第1…一般会計 予算第2…特別会計・企業会計